

2. 公共交通に関する現状と課題

2.1 富谷市の公共交通及び公共交通を取り巻く現況

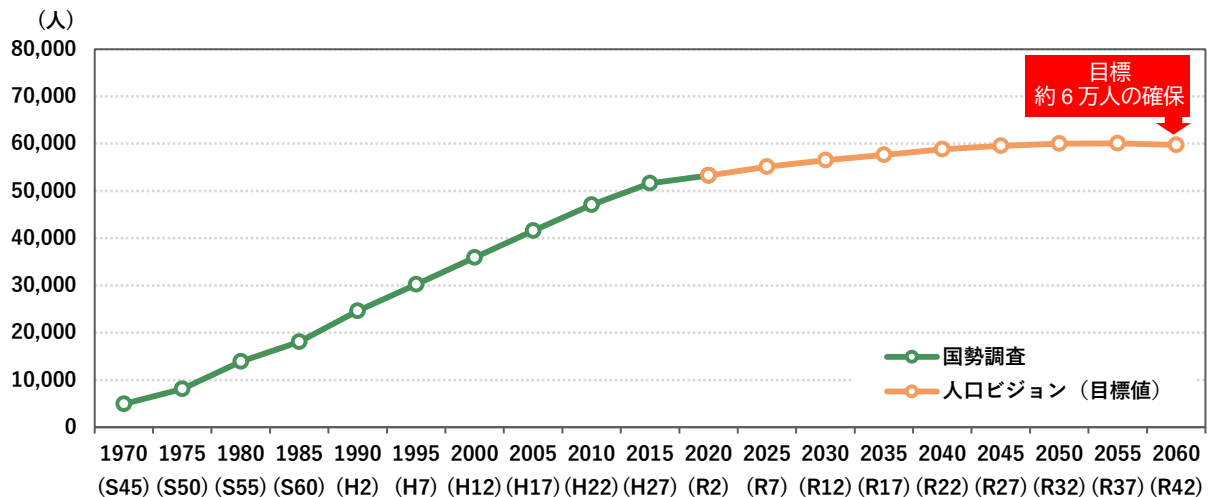
(1) 富谷市の現況

1) 人口

〔人口の推移〕

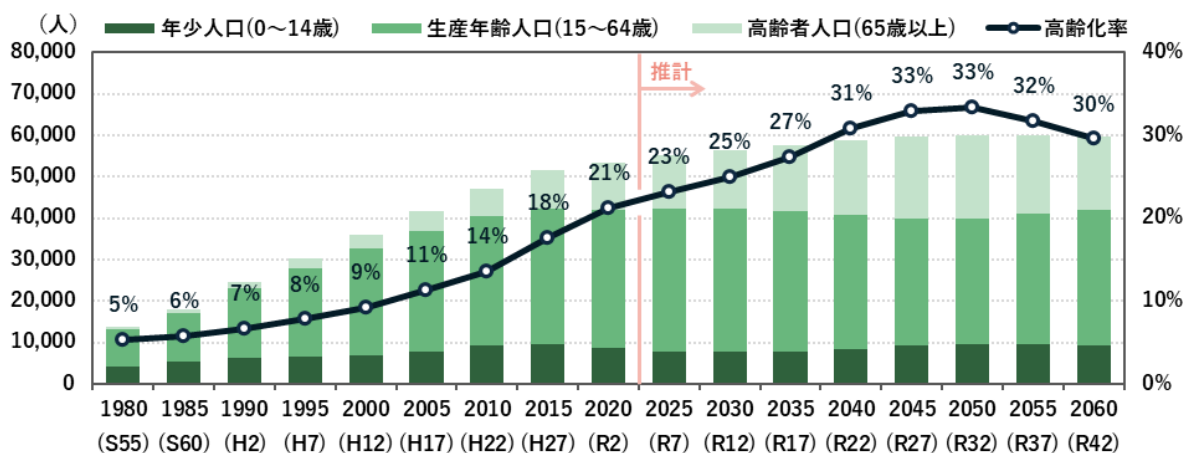
本市の人口は、平成 27 年まで急激な増加傾向で推移していましたが、直近の令和 2 年国勢調査では、51,651 人（平成 27 年比+60 人）と横ばいになっています。

「令和 2 年度第 2 次富谷市人口ビジョン」では、令和 37 年に人口 6 万人超、令和 42 年に人口約 6 万人の確保を目標としています。なお、高齢者（65 歳以上）の割合は、令和 27 年に人口の 3 分の 1 となる予測となっています。



資料：「国勢調査」（総務省統計局）、「令和 2 年度第 2 次富谷市人口ビジョン」（富谷市、令和 3 年 3 月）

図 総人口の推移

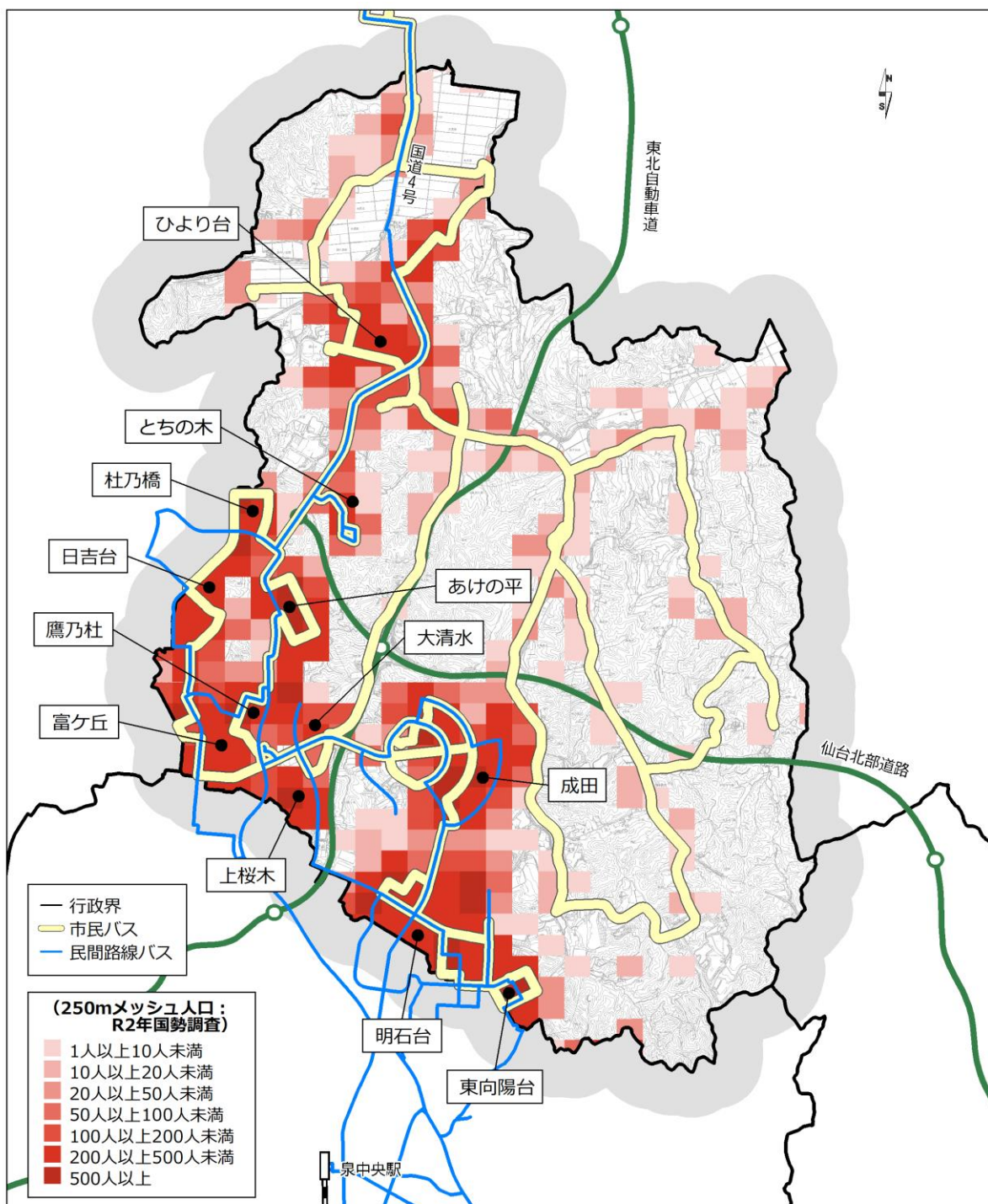


資料：「国勢調査」（総務省統計局）、「令和 2 年度第 2 次富谷市人口ビジョン」（富谷市、令和 3 年 3 月）

図 年齢 3 区分別人口と高齢化率の推移

〔人口分布〕

令和 2 年国勢調査の 250m メッシュ人口をみると、市南部から市中部の明石台地区、成田地区、大清水地区・富ヶ丘地区・日吉台地区などの住宅団地を中心に多くの人が分布しています。

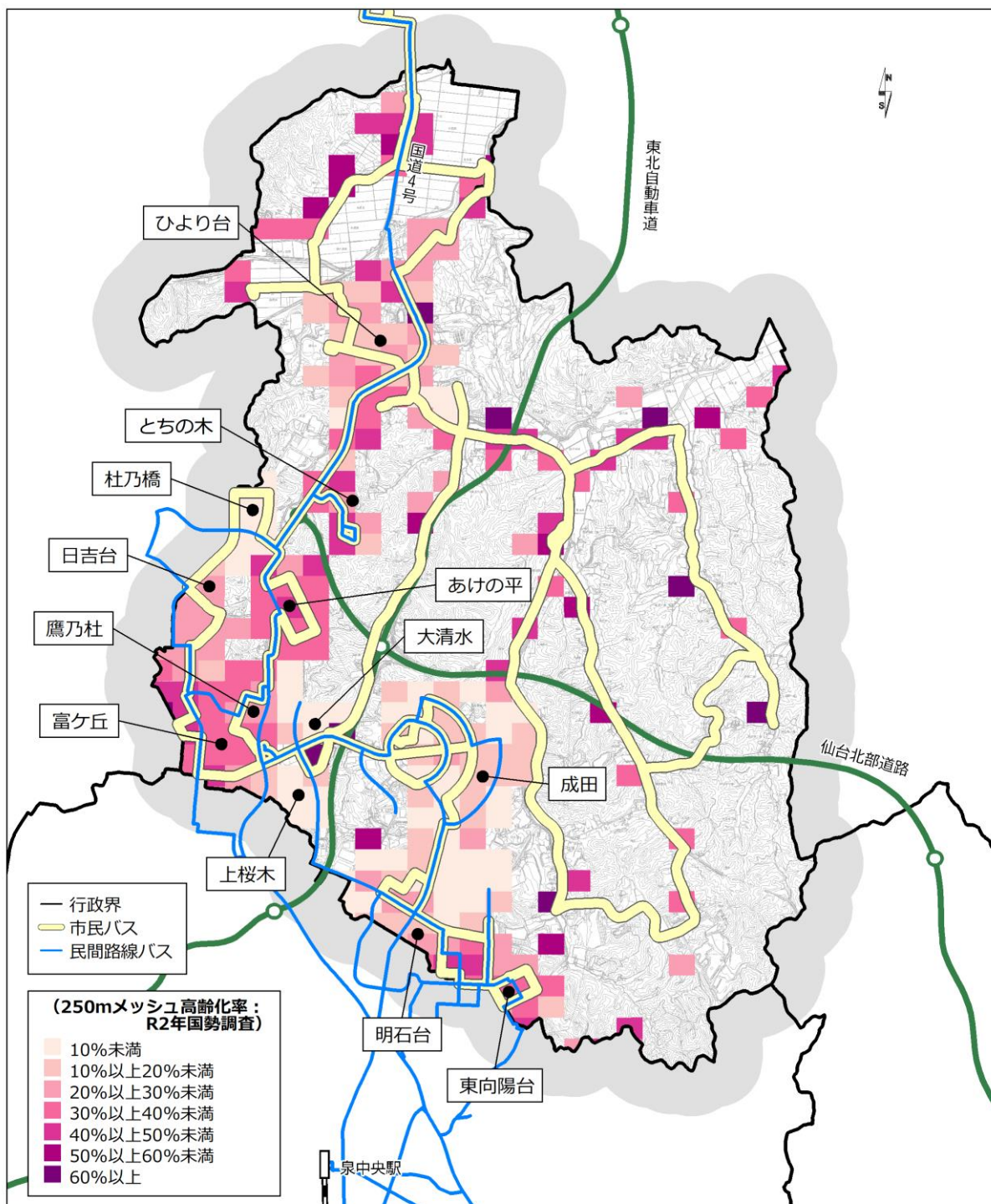


資料 : 「令和 2 年国勢調査」(総務省統計局)、【地形図】資料 : 「DMデータ」(富谷市)

図 人口分布

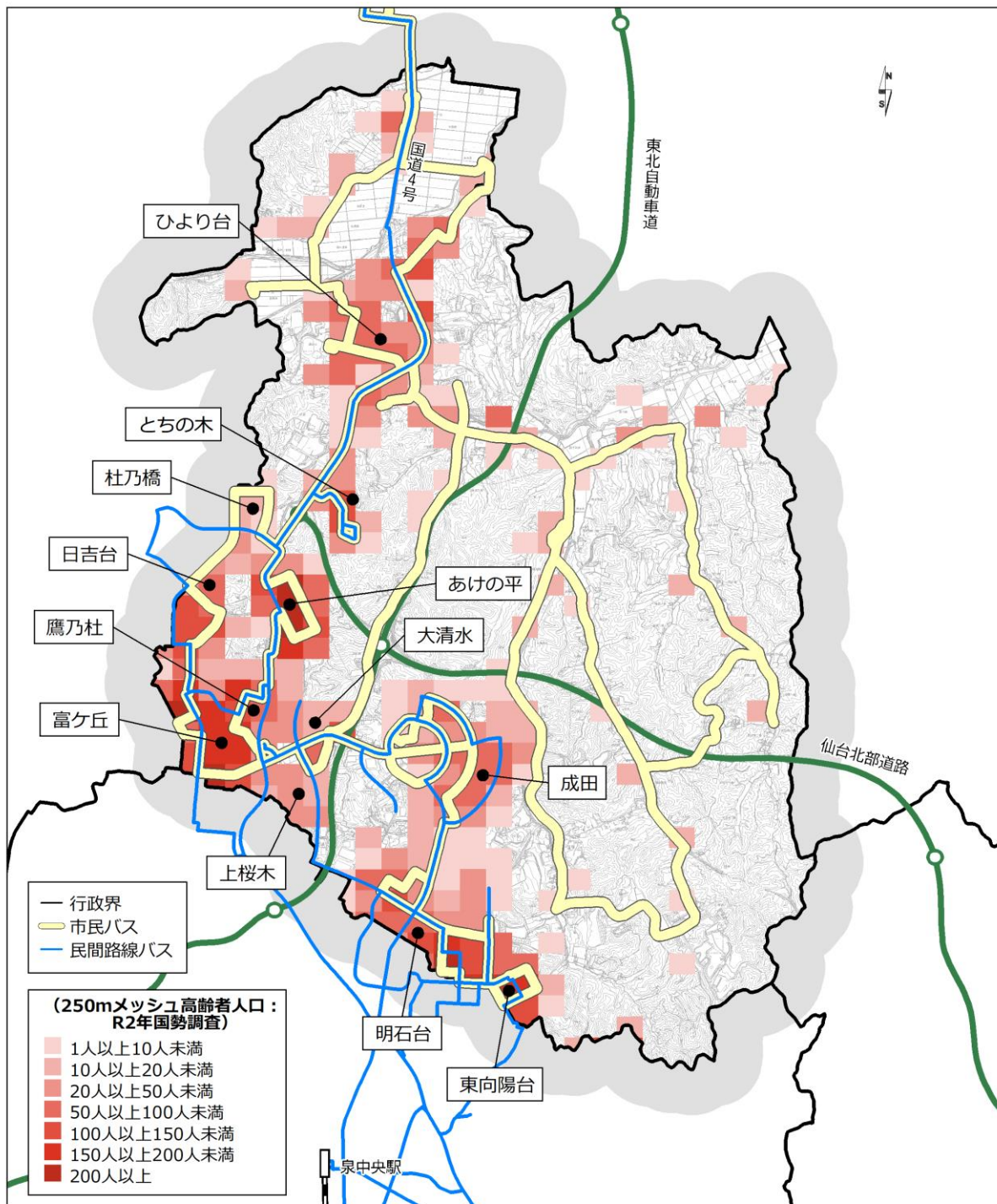
〔高齢者の状況〕

令和2年国勢調査の250mメッシュ人口をみると、市の北側や東側で高齢化率が50%以上のメッシュの分布が見られます。一方、成田地区・大清水地区の住宅団地の周辺は高齢化率が低く10~20%程度のメッシュが多く分布しています。



資料：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、【地形図】資料：「DMデータ」（富谷市）

図 高齢化率の分布

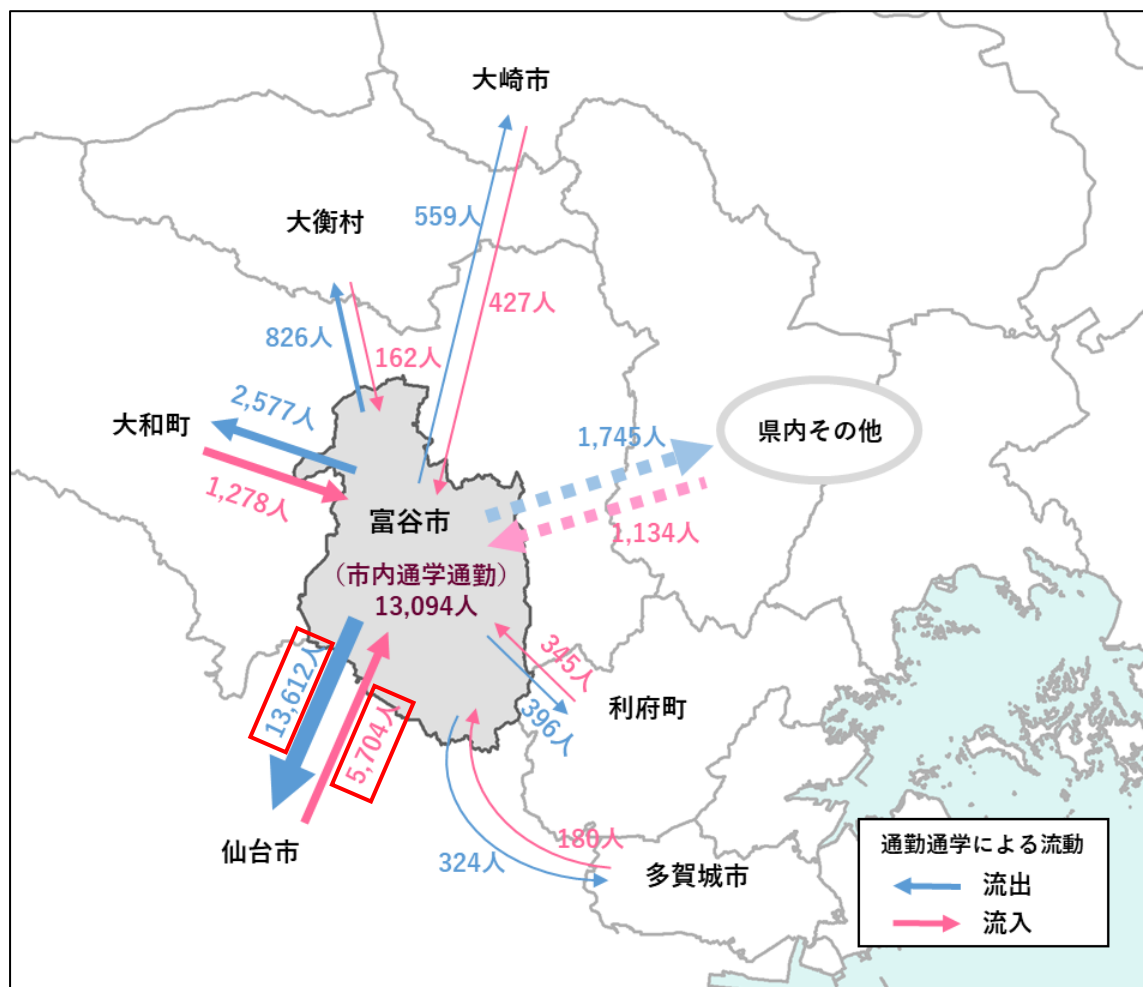


資料：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、【地形図】資料：「DMデータ」（富谷市）

図 高齢者の分布

2) 通勤・通学の流動

通勤・通学による流動は、仙台市との移動が最も多く、流出が 13,612 人、流入が 5,704 人となっています。次いで大和町、大崎市、大衡村、利府町が多くいずれも流出超過となっています。

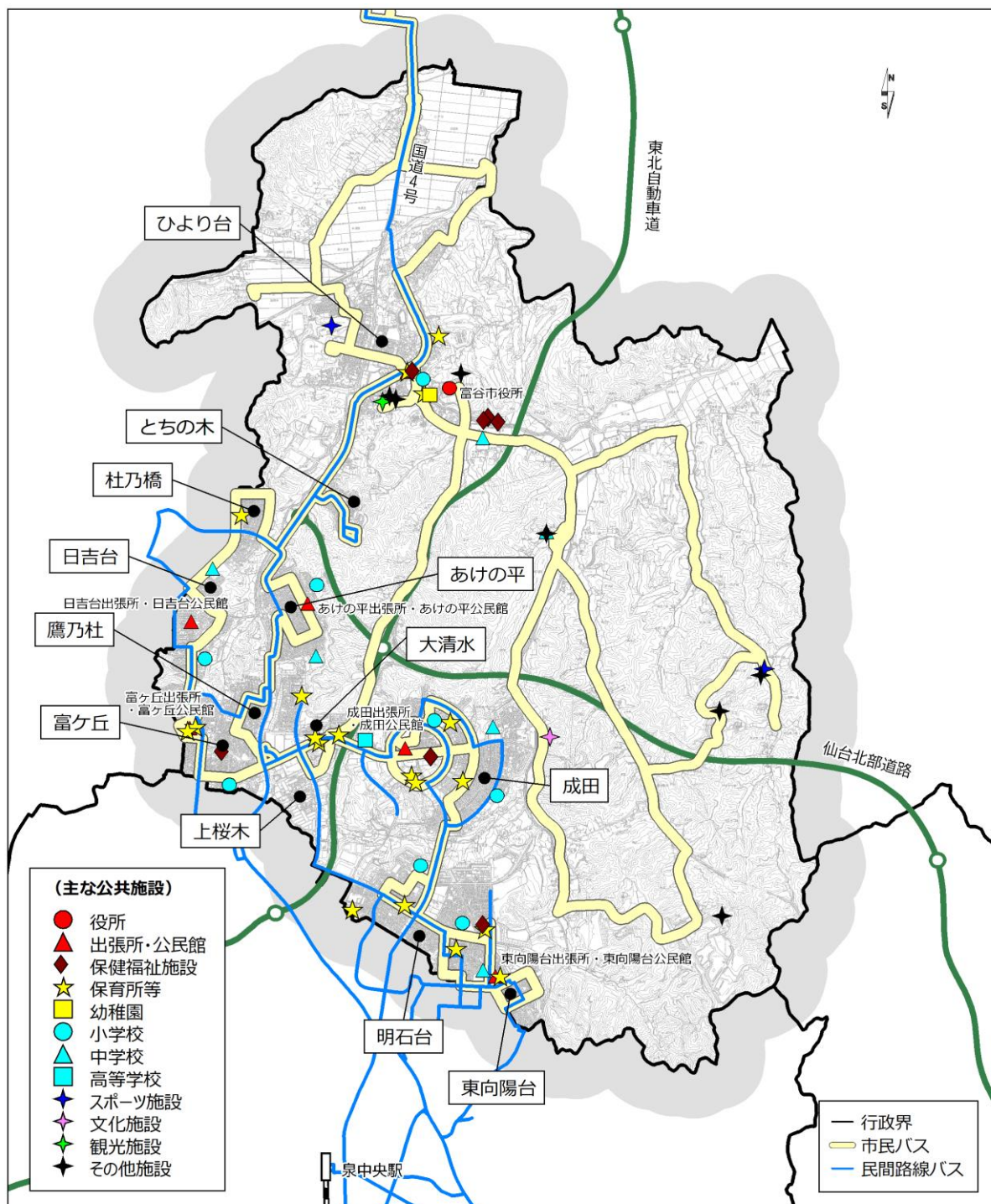


資料：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、【地形図】出典「国土数値情報」

図 通勤・通学による流動

3) 主要な公共施設の立地状況

公共施設の立地状況は、市北部では富谷市役所の周辺に集中して立地しており、市南部では成田地区をはじめとした住宅団地の周辺に多く立地しています。

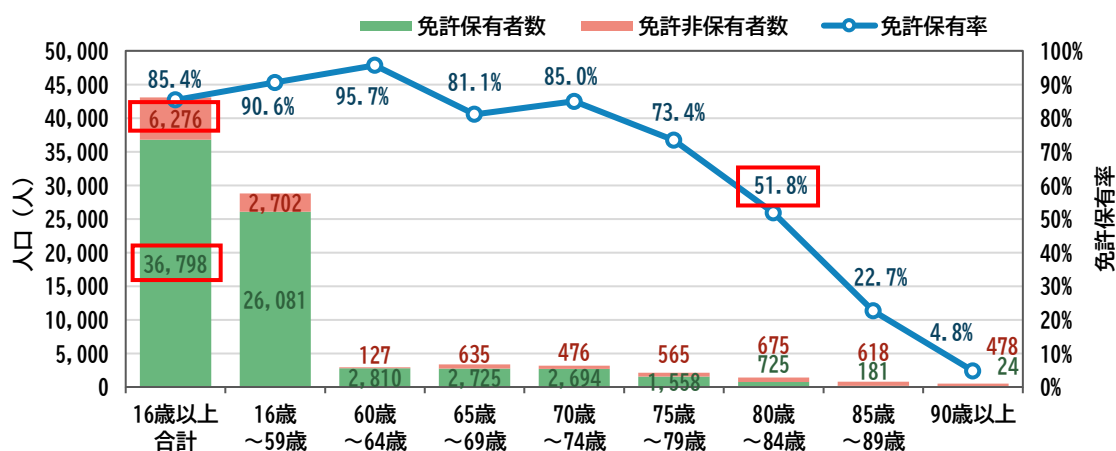


資料：「富谷市暮らしのガイドブック」（富谷市）一部追加、【地形図】資料：「DMデータ」（富谷市）

図 主要な公共施設の立地状況

4) 運転免許非保有者の状況

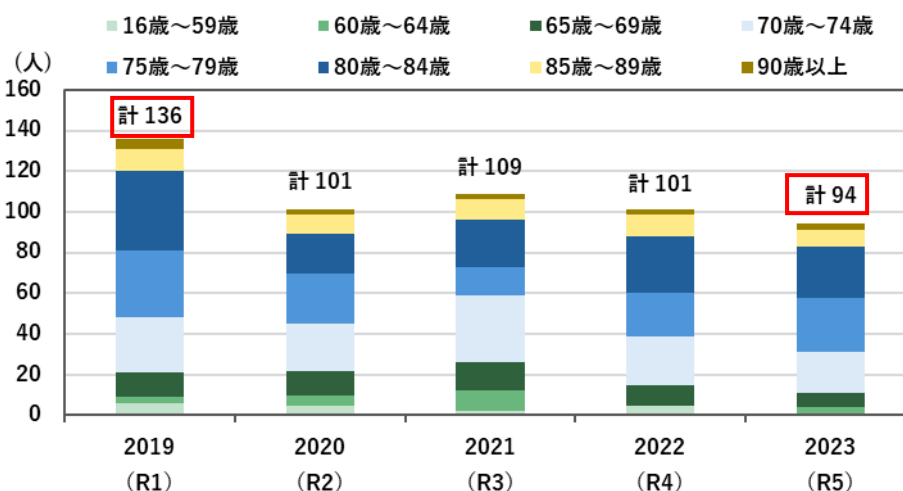
令和5年12月末時点で16歳以上の運転免許保有者は36,798人、非保有者は6,276人となっています。年齢区分別では16～74歳までは約80～90%となっており、80～84歳では約50%まで下がっています。



資料：「市町村別高齢者免許保有者数」（宮城県警）、
「住民基本台帳」（富谷市）、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

図 年齢区分別の運転免許保有の状況

免許自主返納者数は減少傾向にあり、令和元年は136人となっていました。令和2年以降は100人程度で推移し、令和5年は94人まで減少しています。

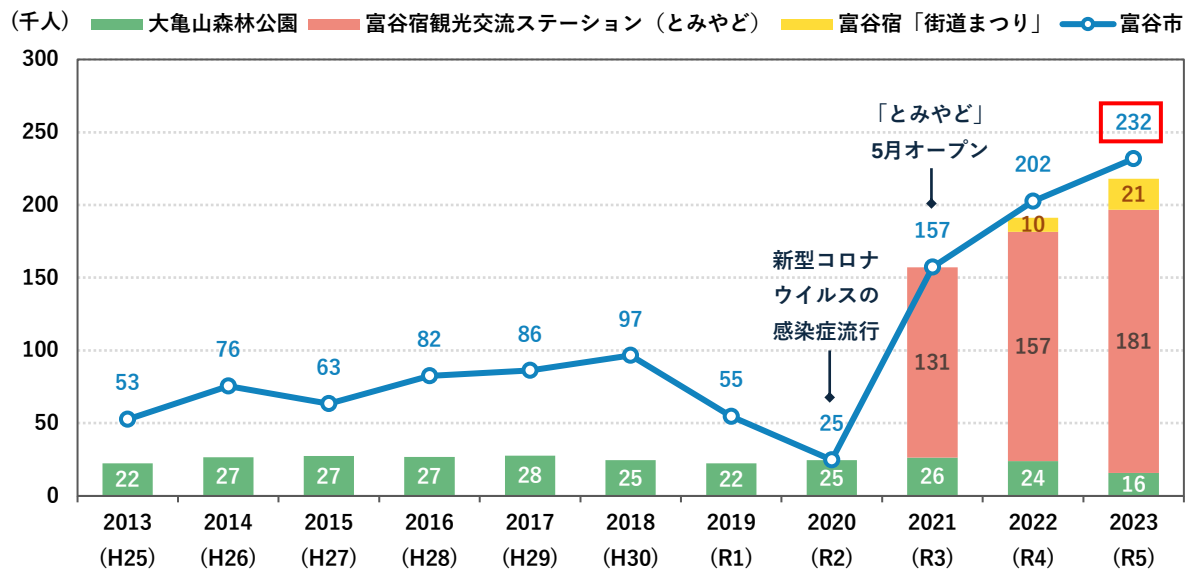


資料：「市町村別年齢層別運転免許自主返納状況」（宮城県警）

図 運転免許自主返納者数

5) 観光客入込数

観光客入込数は、平成 25 年から令和元年まで年間 5 万人～9 万人程度で推移していましたが、令和 3 年 5 月にしんまち地区で富谷宿観光交流ステーション「とみやど」が開業したことにより大幅に増加し、直近の令和 5 年では年間 23 万人に達しています。



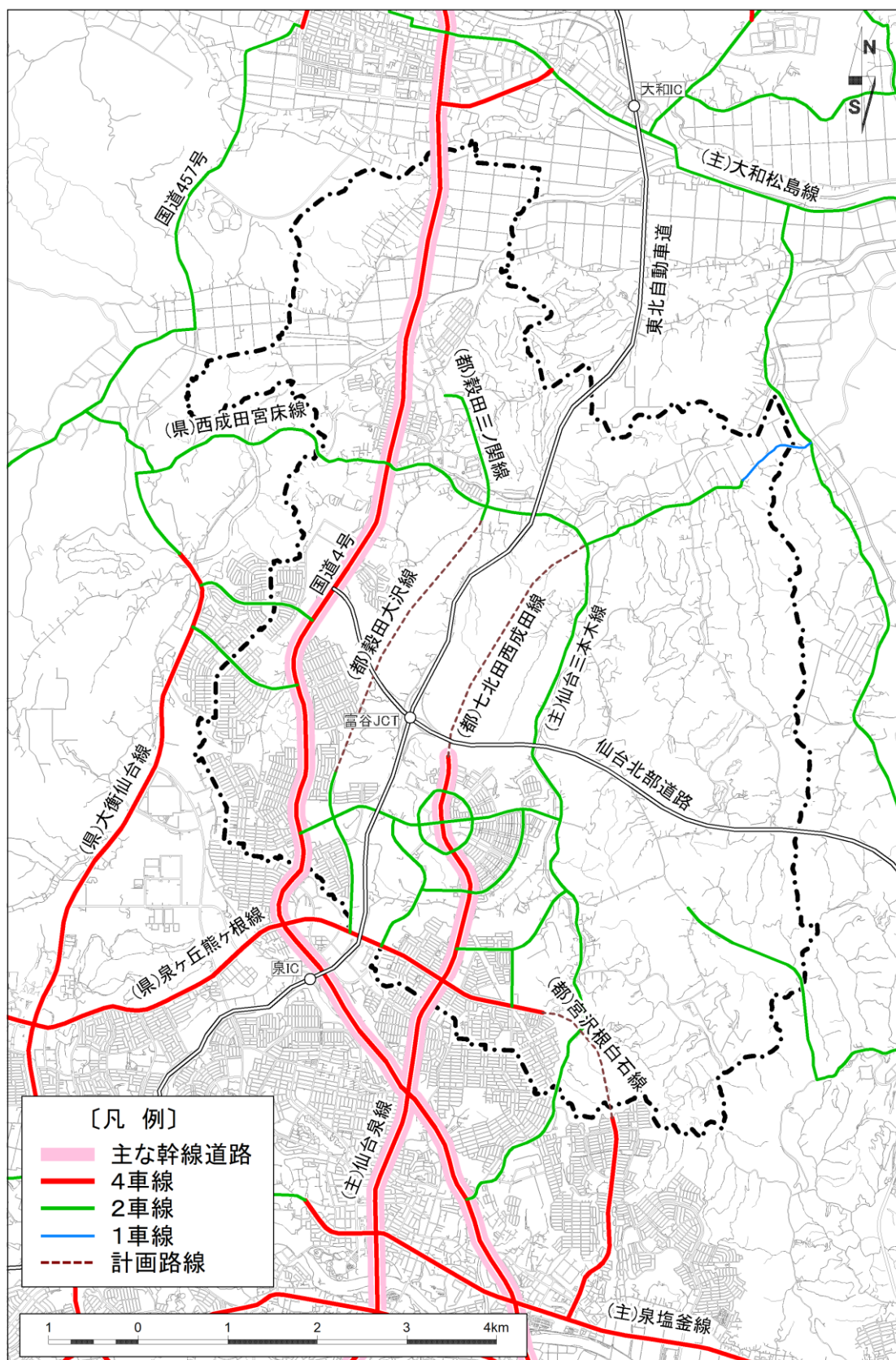
資料：「観光統計概要」(宮城県、平成 25 年～令和 5 年)

図 富谷市及び主要観光地点の年間観光客入込数の推移

6) 道路・交通状況

〔主要道路〕

市内の市街地が南北方向に分布しており、市街地と仙台市方面とを結ぶ主な幹線道路は国道4号と、都市計画道路七北田西成田線の2路線（いずれも4車線道路）となっています。

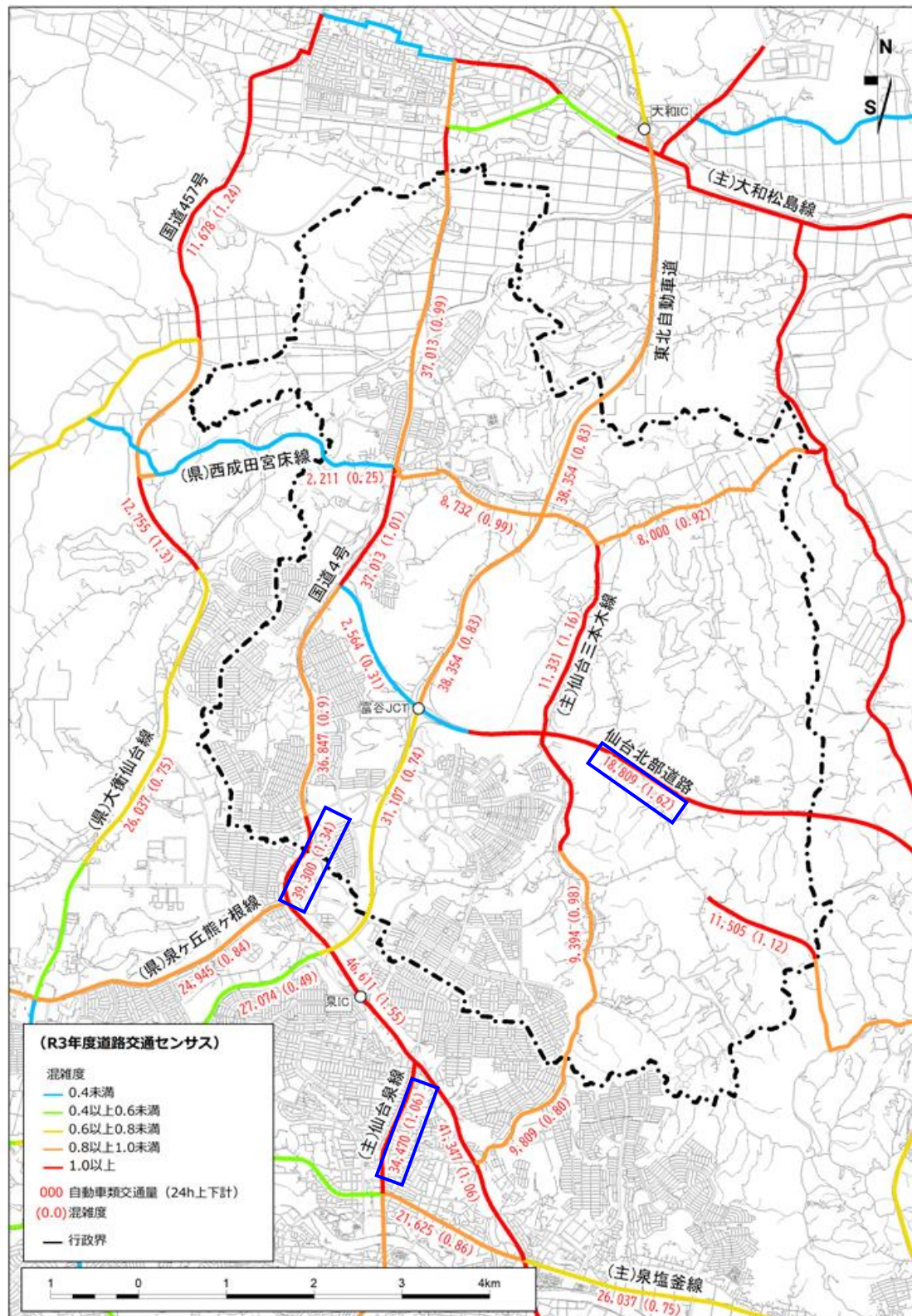


【地形図】資料：基盤地図情報ダウンロードサービス（国土地理院）

図 主要道路網図

〔混雑状況〕

令和 3 年度の道路の混雑度をみると、国道 4 号（仙台市境付近）で 1.34、仙台北部道路で 1.62 となっており、慢性的な渋滞がみられます。仙台市域の将監トンネル付近において混雑度が 1.06 と朝夕の道路渋滞がみられ、仙台都市圏の地域中心核に位置づけられる泉中央方面へのアクセス性を低下させる要因となっています。



資料：「令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査」（国土交通省）
 【地形図】資料：基盤地図情報ダウンロードサービス（国土地理院）

図 主要道路の混雑状況 (R3)

●「混雑度」とは、道路の混雑の程度を示す指標です。

交通容量に対する交通量の比で表されます。

「1.00 以下」 ➡円滑。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。

「1.00～1.25」 ➡何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。

「1.25～1.75」 ➡ピーク時を中心として混雑する時間が加速度的に増加する可能性の高い状態。

「1.75 以上」 ➡慢性的混雑状態を呈する。

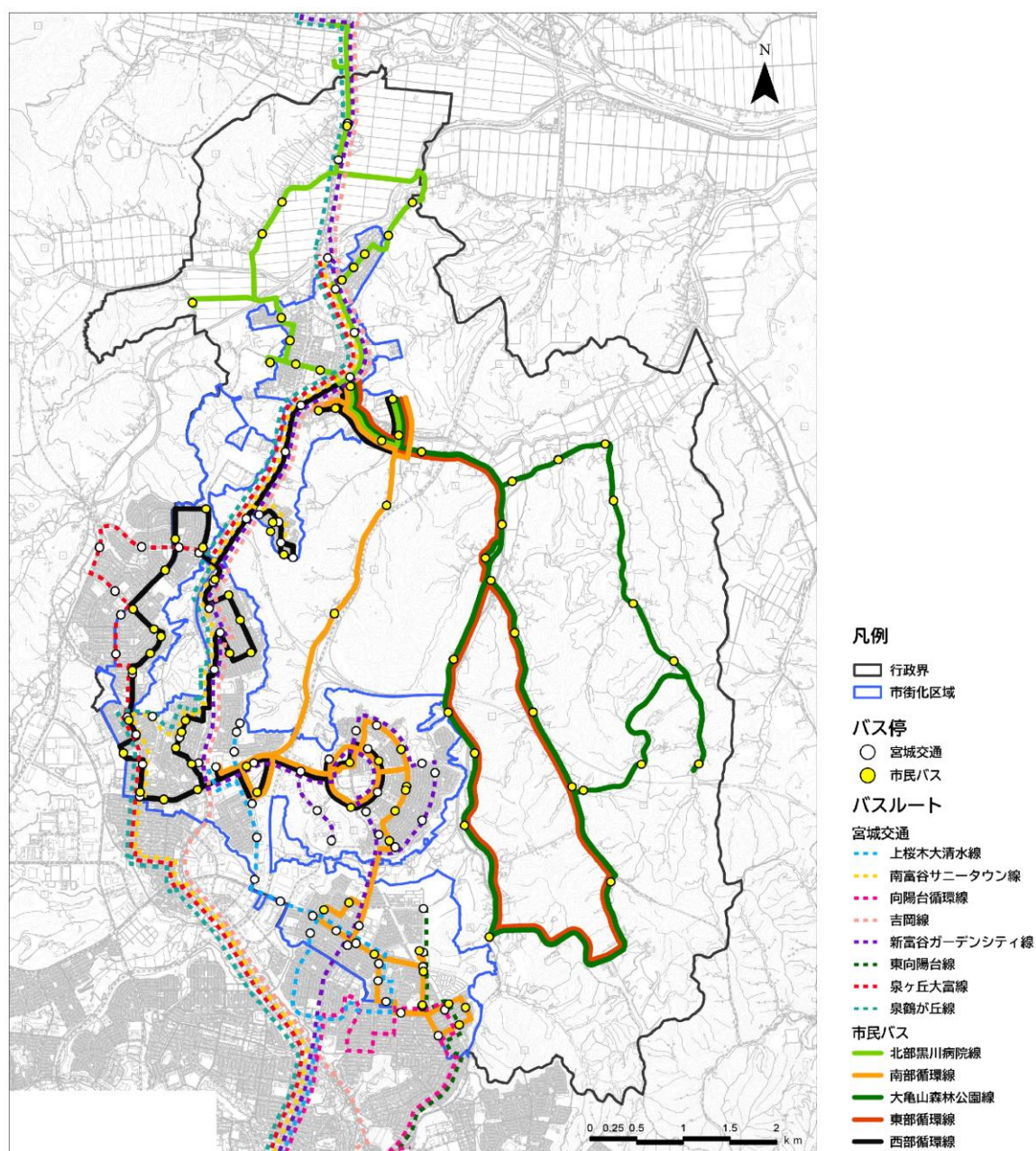
(2) 公共交通の現況

1) 市内の公共交通の概況

本市における主な公共交通機関は、民間路線バスが主に市内各地と仙台市方面とを結ぶ路線を、市民バスが市内各地と市役所や大型商業施設を結ぶ路線などを運行しており、市街地部はバス路線網が密に形成されています。なお、一部区間において、大型商業施設が運行する無料送迎バスがあり、利用者の移動目的によって利用する交通手段が選択されています。

仙台市方面への公共交通の手段としては、民間路線バスやタクシーで泉中央駅までアクセスすることとなりますが、朝夕などの道路混雑により、泉中央駅までの速達性や定時性に支障が生じている場合もあります。

また、昼間時の運行本数が少ない路線、終発時刻の早い路線も存在しています。一方で、車社会の進展により路線バスの利用者は年々減少傾向にあり、深刻な運転士不足も相まって公共交通をとりまく環境は厳しさを増しています。



【地形図】資料：基盤地図情報ダウンロードサービス（国土地理院）
資料：「富谷市都市計画マスタープラン」（令和6年3月）

図 バス路線網図

2) 民間路線バス

〔バスサービス〕

2023 年 11 月時点で宮城交通のバス路線は、平日の運行本数が 319 本、休日が 244 本となっており、平日の方が 75 本多くなっています。

表 運行系統と運行サービス状況

	運行方面	路線名	主要地経由（拠点）				運行系統 （カッコ内は一部便のみ運行区間）	運行本数（上り・下り）	
			泉中央 駅	明石台	成田	大清水 (イオン)		平日	土日祝
宮城交通・ミヤコーバス	成田(ガーデンシティ)	新富谷ガーデンシティ	○	○	○	○	仙台駅/八乙女駅/泉中央駅ー内回りー新富谷ガーデンシティ/イオン富谷店	30	24
		新富谷ガーデンシティ	○	○	○ 外回り		仙台駅/八乙女駅/泉中央駅ー外回りー新富谷ガーデンシティ	62	27
		新富谷ガーデンシティ	○	○	○	△ 団地前	泉中央駅ー内回りー富谷高校ー吉岡	5	4
							小計	97	55
	明石台、上桜木	上桜木大清水	○	○		○	泉中央駅ーサニーハイツー大清水（イオン富谷店）	34	29
		上桜木大清水	○	○		○	泉中央駅ー明石南三丁目ー大清水（イオン富谷店）	32	28
							小計	66	57
	国道4号 (富ヶ丘経由)	泉ヶ丘大富	○				仙台駅/八乙女駅/泉中央駅ー泉ヶ丘ーパルタウン大富ー富谷営業所	51	39
		南富谷サニータウン	○				仙台駅/八乙女駅/泉中央駅ー泉ヶ丘ー鷹乃杜北ー南富谷サニータウン	18	18
		泉鶴が丘					吉岡ー鷹乃杜北ー鶴が丘ニュータウン	1	-
		小計					小計	70	57
	国道4号 (あけの平経由)	吉岡	○			△ 鷹乃杜	泉中央駅ーあけの平ー吉岡	28	30
		吉岡	○			△ 鷹乃杜	泉中央駅ーあけの平ー吉岡ー黒川高校前	3	-
							小計	31	30
	向陽台、明石台方面	向陽台循環	○	△ 東向陽台			泉中央駅ー山の寺ー向陽台団地ー泉中央駅	26	25
		東向陽台	○	△ 明石台			仙台駅/八乙女駅/泉中央駅ー七北田新町（バイパス入口）ー明石台七丁目	29	20
							小計	55	45
							合計	319	244

資料：宮城交通（2023 年 11 月時点）

〔バス停間乗降者数（バス停間OD）〕

富谷市内を通過する民間路線バス利用者数は、日平均で 4,671 人/日となっています。

そのうち、約 9 割（日平均：4,201 人/日）が泉中央駅を乗車バス停または降車バス停として利用しています。バス停間の乗降者（バス停間OD）の日平均数をみると、明石台二丁目と泉中央駅間が 378 人/日で最も多く、次いで明石台西と泉中央駅間が 189 人/日、明石南二丁目と泉中央駅間が 185 人/日となっています。

表 バス停間乗降者数（OD） 上位 20 区間

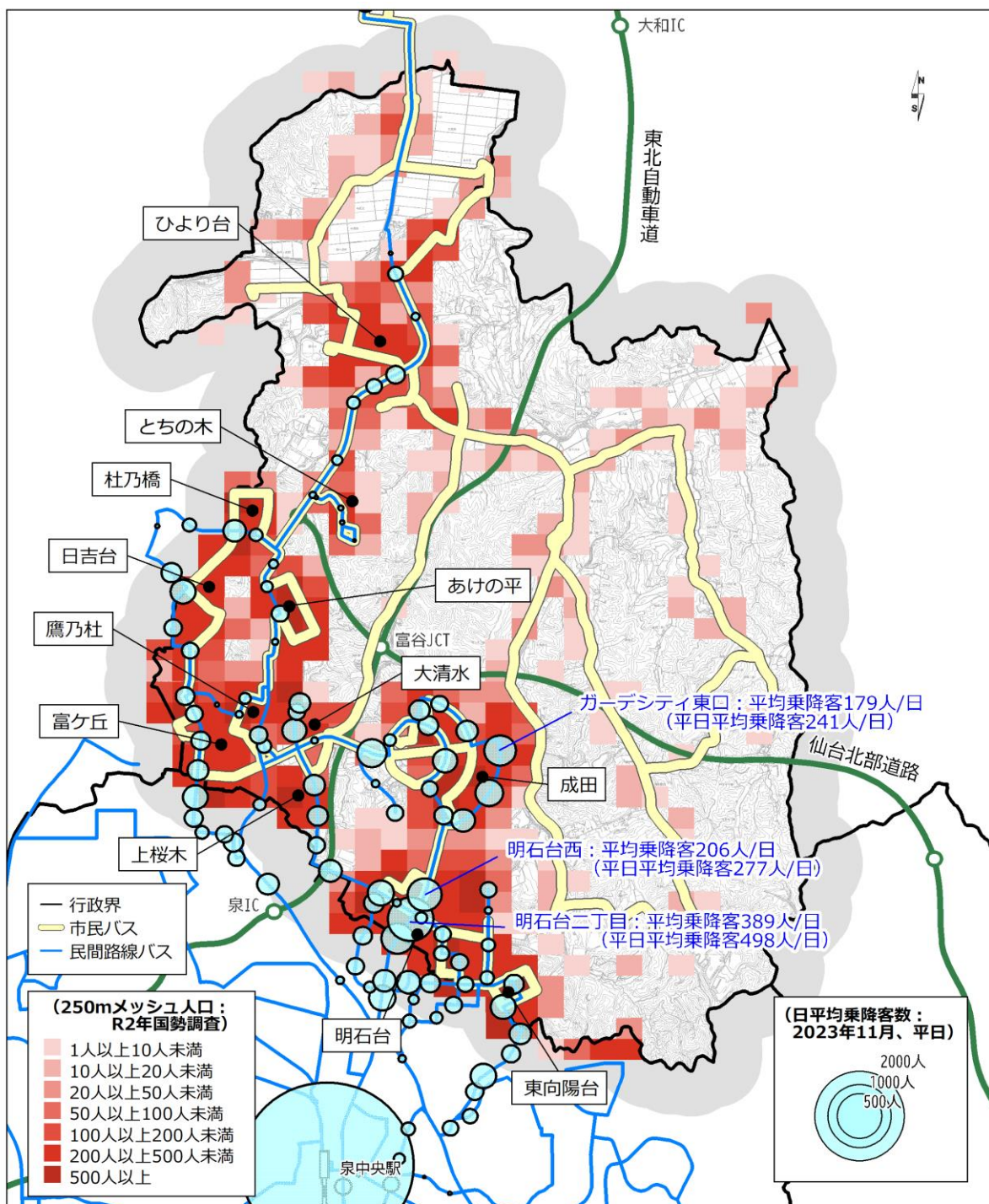
（単位：人／日）

	降車	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	富谷市	大和町	仙台市	仙台市	仙台市	仙台市
乗車		スポーツセンター前	東向陽台二丁目	上桜木中央	明石台四丁目北	明石台二丁目	明石台三丁目北	大清水南	富谷高校前	センター東	明石台西	ショッピングセンター前	ガーデンシティ南口	成田東小学校前	ガーデンシティ東口	成田東公園前	ハーモニータウン中央	泉中央駅	明石南入口	明石南二丁目	明石南一丁目
富谷市	スポーツセンター前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	31	0	0	0
富谷市	東向陽台二丁目	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0
富谷市	上桜木中央	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0
富谷市	明石台四丁目北	0	0	1		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0
富谷市	明石台二丁目	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135	0	0	0
富谷市	明石台三丁目北	0	0	0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	0	0	0
富谷市	大清水南	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0
富谷市	富谷高校前	0	0	0	0	1	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	57	1	0	1
富谷市	センター東	0	0	0	0	0	0	0	1		1	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0
富谷市	明石台西	0	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	1	1	1	0	124	0	0	0
富谷市	パルク大富ショッピングセンター前	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	39	0	0	0
富谷市	ガーデンシティ南口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	46	0	0	0
富谷市	成田東小学校前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		0	0	0	67	0	0	0
富谷市	ガーデンシティ東口	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		0	0	93	0	0	0
富谷市	成田東公園前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	46	0	0	0
大和町	ハーモニータウン中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		38	0	0	0
仙台市	泉中央駅	36	67	39	62	243	43	65	56	62	65	58	54	64	78	36	39		63	108	48
仙台市	明石南入口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67		0	0
仙台市	明石南二丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0		0
仙台市	明石南一丁目	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	

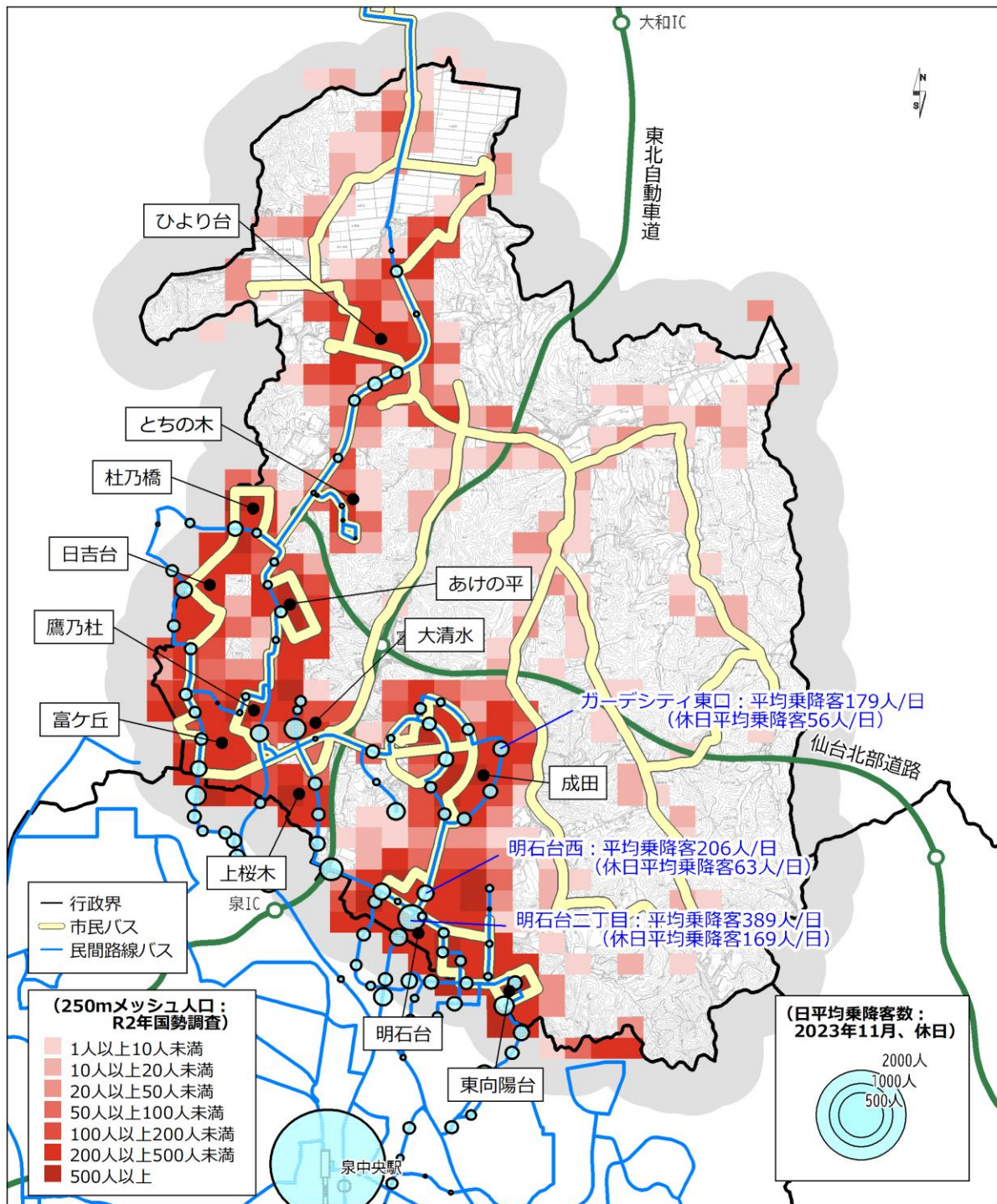
資料：宮城交通（2023 年 11 月時点）

〔バス停別乗降者数〕

2023 年 11 月時点で富谷市内の日平均乗降客数が多いバス停は「明石台二丁目」の 389 人/日、次いで「明石台西」の 206 人/日、「ガーデンシティ東口」の 179 人/日となっています。



資料：宮城交通（2023 年 11 月時点）、【地形図】資料：「DMデータ」（富谷市）

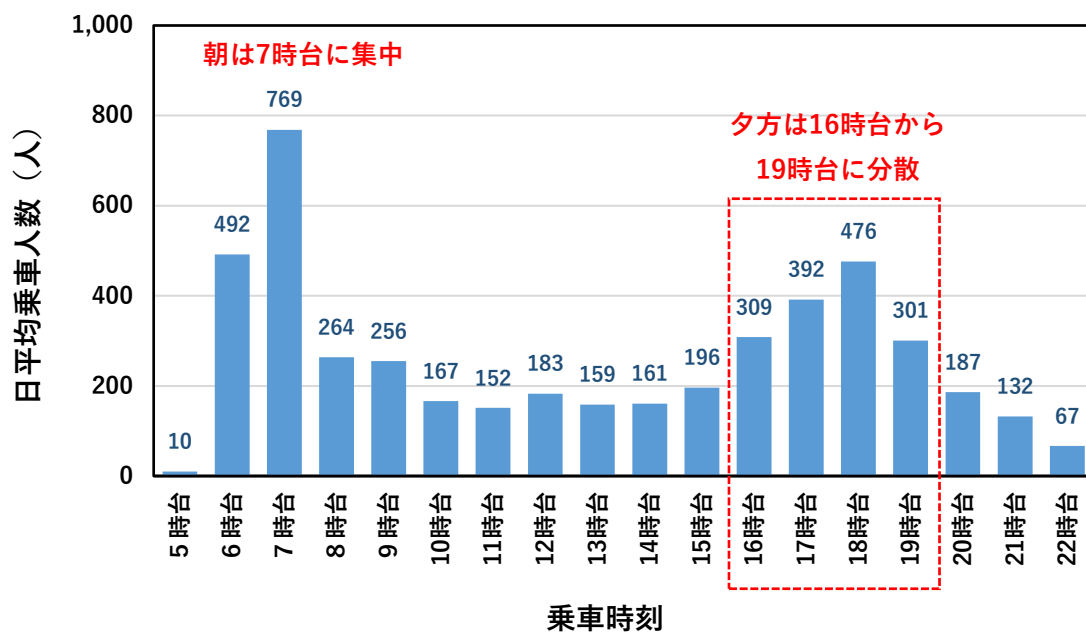


資料：宮城交通（2023年11月時点）、【地形図】資料：「DMデータ」（富谷市）

図 日平均乗客数（休日）

〔乗車時間帯別人口〕

2023 年 11 月時点で宮城交通の乗車時間帯別人数は、朝は 7 時台（769 人）に集中していますが、夕方は 16 時台から 19 時台に分散しています。



資料：宮城交通（2023 年 11 月時点）

図 乗車時間帯別人数

表 乗車時間帯別人数

時間帯		日平均 人数	構成比
1	5時台	10	0.2%
2	6時台	492	10.5%
3	7時台	769	16.5%
4	8時台	264	5.6%
5	9時台	256	5.5%
6	10時台	167	3.6%
7	11時台	152	3.2%
8	12時台	183	3.9%
9	13時台	159	3.4%
10	14時台	161	3.4%
11	15時台	196	4.2%
12	16時台	309	6.6%
13	17時台	392	8.4%
14	18時台	476	10.2%
15	19時台	301	6.4%
16	20時台	187	4.0%
17	21時台	132	2.8%
18	22時台	67	1.4%
計		4,671	100.0%

資料：宮城交通（2023 年 11 月時点）

※時間帯別日平均人数の合計値は、小数点以下の端数処理を行っているため日平均利用者数とは合致しない

3) 市民バス

〔概要〕

主要な公共交通機関である民間路線バスを補完し、市内の交通空白地の解消や主要施設間の連結を図る地域交通として運行しています。また、市民からの要望が多い泉中央駅までの交通便利性向上のため「イオン富谷店」を乗り継ぎ拠点として、市民バスと民間路線バスを結節し、泉中央駅までのバス区間を低額で運行する乗り継ぎ運行も実施しています。

運行日

月曜日から金曜日(土・日・祝日、年末年始は運休)

運行時間

運行ダイヤによる(7時頃～18時頃まで)

運行便数(1日あたり運行便数)

北部黒川病院線 9便

大亀山森林公園線 4便

東部循環線 1便

南部循環線 12便※イオン循環便も含む

西部循環線 15便※イオン循環便も含む

運行事業者

仙台富士交通株式会社(令和6年度時点)

停留所

次ページ「市民バス路線図」のとおり



●利用料金(乗車1回)

区 分	使用料
大人(中学生以上)	100円
小人(小学生)	50円
・70歳以上の方 ・障がいのある方 ・遠距離通学者 ・運転免許を返納した 60歳以上の方 ・未就学児	無料
回数乗車券 (50円券11枚)	500円
定期券 大人(1か月券) 大人(3か月券) 大人(6か月券) ※小人(小学生)は大人の半額の料金	3,000円 8,000円 15,000円

※障害者手帳などをお持ちの方は
介助者1名まで含む

〔利用者数の推移〕

令和2年10月の第1次再編が行われ、バス利用者は令和4年度まで増加傾向にありましたが、令和5年度には微減となっています。

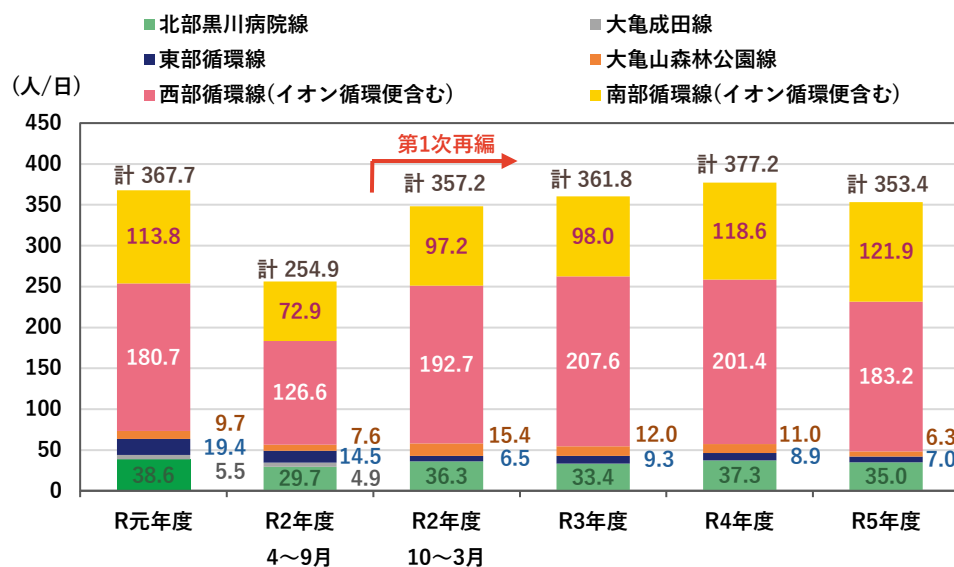


図 市民バスの1日当たりの利用者数の推移

表 市民バスの第1次再編後の運行便・1日当たりの利用者数

路線	再編前			再編後					備 考
	便数	1日当たりの利用者数		便数	1日当たりの利用者数				
		R元年度	R2年度 4～9月		R2年度 10～3月	R3年度	R4年度	R5年度	
北部黒川病院線	8便	38.6	29.7	9便	36.3	33.4	37.3	35.0	R4.4.1～タ方便を増便
大亀成田線	2便	5.5	4.9	-	-	-	-	-	R2.10.1～運行休止(デマンド型交通へ移行)
東部循環線	3便	19.4	14.5	1便	6.5	9.3	8.9	7.0	2便は大亀山森林公園線に統合
大亀山森林公園線	4便	9.7	7.6	4便	15.4	12.0	11.0	6.3	
西部循環線	8便	180.7	126.6	8便	192.7	207.6	201.4	183.2	R2.10.1～イオン循環便を増便
西部循環線(イオン循環便)	-	-	-	7便					
南部循環線	6便	113.8	72.9	6便	97.2	98.0	118.6	121.9	
南部循環線(イオン循環便)	-	-	-	6便					
合 計	31便	367.7	254.9	41便	357.2	361.8	377.2	353.4	

4) デマンド型交通

〔概要〕

市民バスの代替手段となる新たな交通網形成を目指し、北部区域と東部区域の公共交通空白地域を対象とした、「デマンド(予約乗合)型交通」の運行を実施しています。デマンド型交通とは、事前に利用したい日や便を電話で予約していただき、同じ時間帯に予約した他の利用者と乗り合いで、ご自宅から目的地まで送迎する交通サービスです。

運行日

月曜日から金曜日(土・日・祝日、年末年始は運休)

運行時間

運行ダイヤによる(9時頃～17時頃まで)

運行便数(1日あたり運行便数)

北部区域 全8便

北部区域自宅発黒川病院方面行き 4便

黒川病院発市役所方面行き 4便

東部区域 全16便

東部区域自宅発イオン富谷店方面行き 3便

イオン富谷店方面から東部区域自宅行き 5便

東部区域自宅発市役所方面行き 3便

市役所方面から東部区域自宅行き 5便

運行委託先

社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会

指定乗降場所

次ページ「指定乗降場所」のとおり

●利用料金(乗車1回)

対象	料金
・大人(中学生以上)	200 円
・小人(小学生)	100 円
・70 歳以上の方	
・運転免許証を返納した 60 歳以上の方	
・障がいをお持ちの方	無料
・未就学児	
・回数乗車券(100 円券 11 枚綴り)	1,000 円

●デマンド型交通の利用登録者数

区分	区域		計
	北部	東部	
70 歳以上	10	69	79
中学生以上	3	12	15
障がい者 (70 歳以上 含む)	3	7	10
小学生	0	3	3
計	16	91	107

(令和 6 年 3 月 31 日時点)



表 デマンド型交通 指定乗降場所

〔北部地域〕

	市民バス停留所※	公共施設	病院等	金融機関	商業施設
黒川病院 方面	・黒川病院 ・大和町バスターミナル				・ヨークハートマル大和吉岡店
市役所方面	・富谷市役所 ・とうみやの杜入口 ・清水仲 ・富谷中央公民館 ・ひより台一、二丁目 ・富谷スポーツセンター ・ひより台一丁目会館前 ・グリーンヒル入口 ・ゴルフ場入口 ・太子堂入口 ・太子堂一、二丁目 ・膳部沢下 ・馬場沢下	・富谷市まちづくり産業交流プラザ「とみぱら」 ・富谷宿観光交流ステーション ・「とみやど」 ・仙台保健福祉事務所黒川支所 ・三ノ関会館	・富谷病院 ・佐藤病院 ・内田歯科 ・館歯科 ・ひより台歯科 ・うちがさき歯科病院 ・富谷中央病院	・七十七銀行富谷支店 ・富谷郵便局 ・新みやぎ農協富谷支店	・イオン富谷店 ・ポルカサンシャイン富谷（旧西友）

〔東部地域〕

	市民バス停留所※	公共施設	病院等	金融機関	商業施設
イオン富谷店方面	・イオン富谷店 ・富谷高校前 ・成田温泉前 ・上桜木・大清水 ・成田中学校前 ・成田橋 ・成田公民館前 ・成田中央病院前	・宮城県動物愛護センター ・西成田コミュニティセンター ・石積会館	・中谷クリニック ・新富谷SSレディースクリニック ・仙台リハビリテーション病院 ・特養成田の里 ・いとうクリニック ・なりた耳鼻咽喉科 ・上桜木しんがい脳神経外科 ・富谷ガーデン歯科 ・たかはし歯科・矯正歯科クリニック	・成田郵便局	・カインズ 仙台富谷店 ・ヤマザワ富谷成田店 ・カワ薬局富谷店
市役所方面	・富谷市役所 ・とうみやの杜入口 ・清水仲 ・富谷中央公民館	・富谷市総合運動公園 ・富谷市まちづくり産業交流プラザ「とみぱら」 ・富谷宿観光交流ステーション ・「とみやど」 ・仙台保健福祉事務所黒川支所	・富谷病院 ・ひより台歯科 ・うちがさき歯科病院 ・黒川病院 ・佐藤病院 ・内田歯科 ・館歯科	・七十七銀行富谷支店 ・富谷郵便局 ・新みやぎ農協富谷支店	・ポルカサンシャイン富谷（旧西友）

※ 各対象区域内の市民バス停留所も指定乗降場所となっています。

〔利用者数の推移〕

本市では、令和 2 年 10 月より市民バスの再編と併せて、市民バスの代替手段となる新たな交通網形成を目指し、北部区域と東部区域の公共交通空白地域を対象とした、「デマンド(予約乗合)型交通」を運行しています。1 日当たりの利用者数は徐々に増加しており、令和 5 年度は 7.1 人となっています。

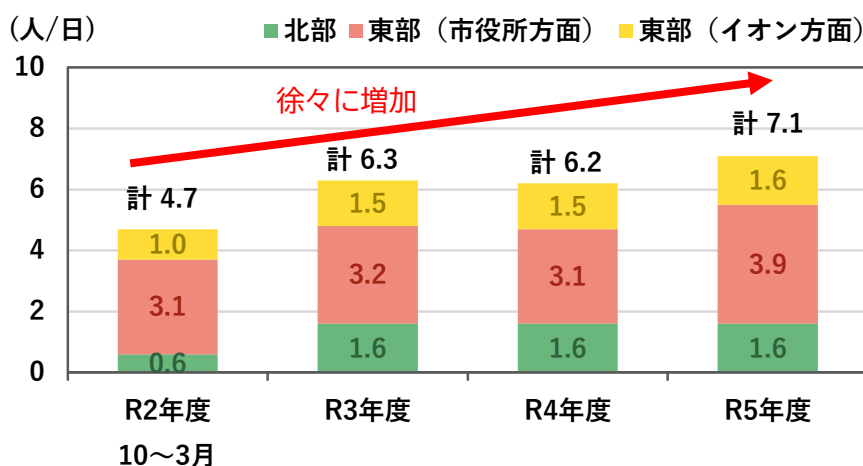


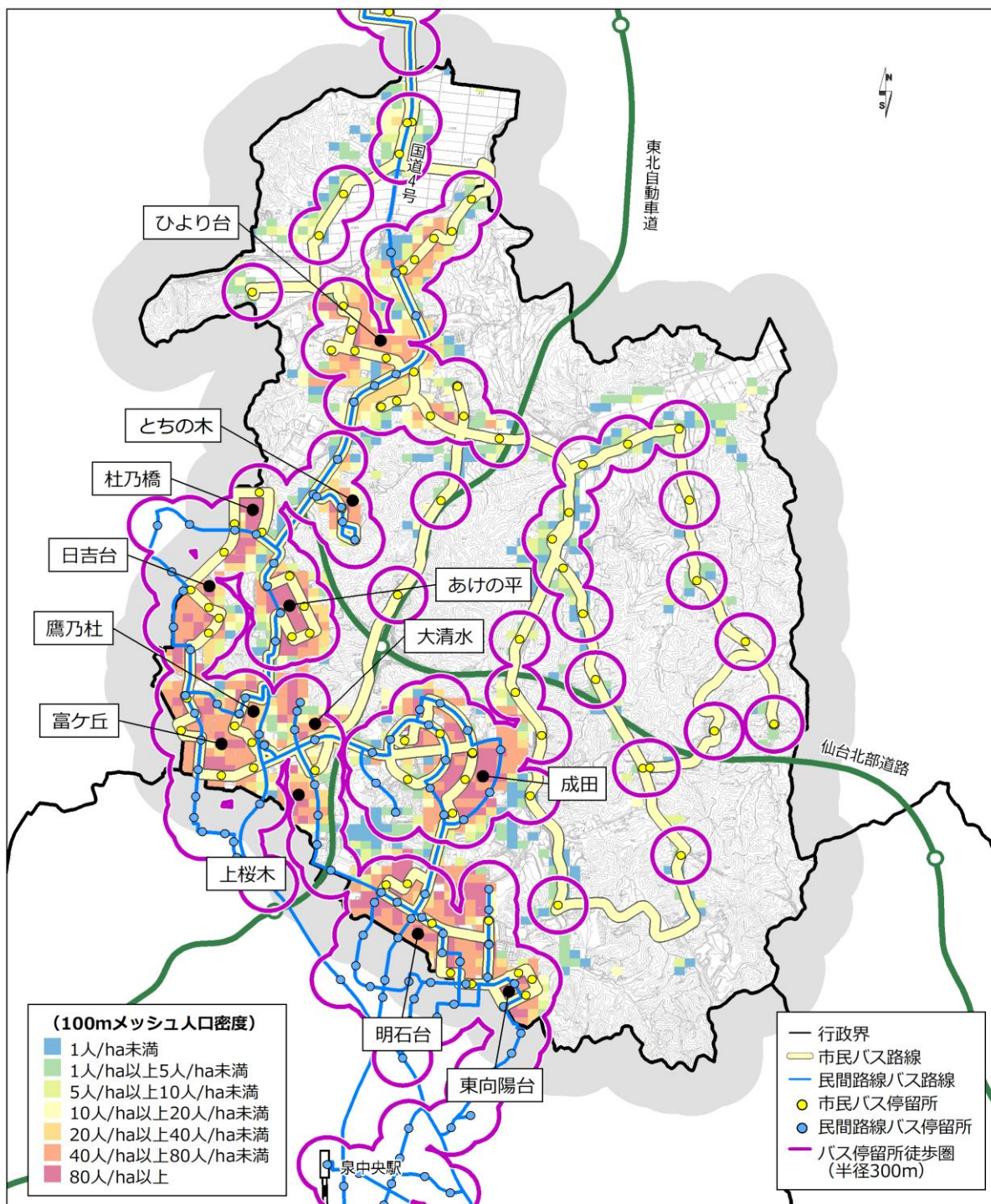
図 デマンド型交通の利用状況

表 デマンド型交通の利用状況

		R2年度 10~3月	R3年度	R4年度	R5年度
運行日数		121日	242日	243日	243日
運行便数	北部	64便	322便	329便	336便
	東部 (市役所方面)	221便	510便	570便	660便
	東部 (イオン方面)	84便	223便	287便	316便
	計	369便	1,055便	1,186便	1,312便
利用者数	北部	70人	379人	389人	388人
	東部 (市役所方面)	381人	780人	745人	951人
	東部 (イオン方面)	117人	365人	374人	394人
	計	568人	1,524人	1,508人	1,733人
1日当たりの 利用者数	北部	0.6人	1.6人	1.6人	1.6人
	東部 (市役所方面)	3.1人	3.2人	3.1人	3.9人
	東部 (イオン方面)	1.0人	1.5人	1.5人	1.6人
	計	4.7人	6.3人	6.2人	7.1人

5) 公共交通徒歩圏カバー率

バス停の徒歩圏（300m）における人口カバー率は 95.1%となっています。



※ 人口集計は東京大学空間情報科学研究センター作成の 100mメッシュ人口より算出

【地形図】資料：「DMデータ」(富谷市)

図 バス停からの徒歩圏と人口分布

6) 新公共交通システムの推進に関するこれまでの取組

本市では、「都市・地域総合交通戦略（基本計画）」に基づき、仙台市泉中央駅との基幹公共交通の整備を目的とした調査を実施しています。

■主な調査概要

地下鉄整備の調査検討概要（令和 4 年度）

従来方式及び PFI 方式による地下鉄整備を想定した場合の採算性を検討

- ・ 整備区間：仙台市泉中央駅～明石台地区(仙台市内に中間駅を 1 ないし 2 つ設置することを想定)
- ・ 概算事業費：354 億～451 億円
- ・ 事業採算性：開業後 21～33 年での黒字転換可能と試算

※上下一体方式及び PFI 方式の場合

BRT（バス高速輸送システム）整備の調査検討概要（令和 5 年度）

FC バス・EV バスが走行する専用地下道による整備を想定した場合の導入可能性を検討

- ・ 整備区間：仙台市泉中央駅～明石台地区(泉中央駅の地下バスターミナルを整備した場合と既存のバス停を活用した場合の 2 パターンを想定)
- ・ 概算事業費：85 億～208 億円

(3) 公共交通に関する市民意識

1) 市民バスアンケート（令和6年）

市民バスの利用割合は回答者の74%であり、利用者のうち週に3～4回以上利用する割合は約4割となっています。市民バスの利用目的は「買い物」と「通院」が多く、路線は「南部循環線」と「西部循環線」が多く利用されています。

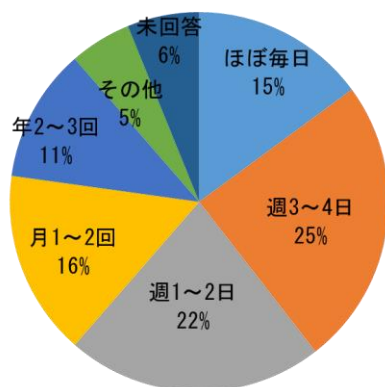
市民バス利用者からの市民バスの改善点に関する意見としては、「増便」に関する意見が最も多く、次いで「バス停留所」、「市内路線拡大」となっています。市民バス未利用者が利用しない理由としては、「時間帯が合わない」が最も多く、次いで「行きたい場所を通らない」、「他の交通手段を活用」となっています。

■市民バスの利用状況

【利用の有無】

項目	件数	割合
利用している	114	74%
利用したことがない	40	26%
未回答	0	0%
総計	154	100%

【利用頻度】



○アンケート調査概要

・調査期間：

令和6年11月1日（金）から11月30日（土）

・回収場所：市民バス車内、市役所総合窓口、企画政策課窓口、各出張所、中央公民館、福祉健康センター、とみや子育て支援センター、TOMI+（とみぷら）、シルバー人材センター、とみやど、みやぎ電子サービス（Web）

・回収方法：記入用紙、FAX、電子メール、Web

・回答数：154件

・回答内訳：用紙86件、Web68件

【利用目的】

年齢	買い物	公共施設	通勤	通学	通院	習い事	その他
総計	65	46	13	19	42	5	4
10歳未満	0	0	1	6	0	0	0
10歳代	0	1	0	12	0	0	0
20歳代	2	2	3	0	1	0	0
30歳代	6	7	0	0	0	0	1
40歳代	6	2	3	1	2	0	0
50歳代	6	5	3	0	5	0	0
60歳代	6	4	2	0	5	0	1
70歳代	22	15	1	0	14	1	1
80歳代以上	17	10	0	0	15	4	1

【利用路線】

年齢	北部黒川病院線	西部循環線	東部循環線	南部循環線	大亀山森林公園線	未回答
総計	34	89	13	106	8	21
10歳未満	2	5	2	0	1	0
10歳代	1	8	3	14	5	0
20歳代	0	7	2	3	0	2
30歳代	0	5	1	13	0	1
40歳代	2	5	0	12	0	0
50歳代	2	13	2	12	0	0
60歳代	7	10	0	8	0	2
70歳代	9	28	0	19	2	6
80歳代以上	11	8	3	25	0	10

■市民バス利用者対象

【市民バスの改善点】※自由記述

項 目	件 数
ある	64
ない	29
未回答	21
計	114

【改善点の主な内容】※複数回答有

1	運行時間帯	6
2	増便	16
3	土日祝日の運行	6
4	市外運行	3
5	市内路線拡大	7
6	バス停留所	8
7	運賃	0
8	乗務員	3
9	感謝	0
10	その他	10

【いただいたご意見（抜粋）】

- ・夜間帯や土日祝など運行時間帯の拡大。
- ・便数と経由地を増やしてほしい。
- ・イオンお買い物バスの時刻と重なるときがある。
- ・小学校への登下校にちょうど良い時間のバスがない。
- ・泉中央駅までの乗り入れ。
- ・（明石台10丁目など）バス停まで距離がある地区に新たなバス停を設けてほしい。
- ・もう少し時間通りに来て欲しい。できないのであれば時刻表を変えて欲しい。
- ・イオン等複数の路線が通る所で、乗り間違えを無くすために、時間をずらすなどの対策をして欲しい。
- ・コストコにバス停が欲しい。
- ・「その他」の主な内容としては、遅延証明書の発行、交通系ICの追加、停留所への椅子や屋根の設置の希望など。

■市民バス未利用者対象

【市民バスを利用しない理由】※複数回答有

項 目	件 数
行きたい場所を通らない	18
時間帯が合わない	25
バス停留所まで遠い	8
他の交通手段を活用	10
その他	2
未回答	1
総計	64

【改善点の主な内容】※複数回答有

1	運行時間帯	2
2	増便	8
3	土日祝日の運行	1
4	市外運行	2
5	市内路線拡大	4
6	バス停留所	3
7	運賃	0
8	乗務員	0
9	感謝	0
10	その他	2

【いただいたご意見（抜粋）】

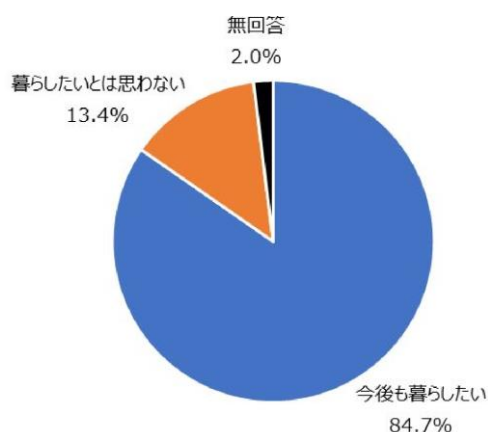
- ・運行時間帯が少ない。
- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・目的場所までぐるぐる廻るので時間がかかる。
- ・上桜木町内に停留所を置いてほしい。
- ・泉中央行きを増やして欲しい。
- ・遅い時間帯は宮交も市民バスもなく不便。
- ・休日、祝日の運行を増やしてほしい。
- ・小学校の下校時間に合わせて運行して欲しい。午前授業などのイレギュラー時には臨時便の運行を検討して欲しい。
- ・イオンに行くのに、わざわざ乗り換えが必要。イオンを経由する循環バスにしてほしい。
- ・気軽に使えるように、バス停を増やしてほしい。

2) 富谷市まちづくりアンケート調査（令和 6 年 12 月）

市で実施したまちづくりアンケートでは、継続的な居住意思について 84.7%の方が「今後も暮らしたい」と回答しており、定住意向が高いことがわかります。一方で、「今後も暮らしたい」と回答する方の理由のうち、「交通の便が良い」と回答した方は 11.1%にとどまっています。

○アンケート調査概要
 ・調査期間：令和 6 年 9 月 27 日(金)～10 月 23 日(水) ※11 月 5 日(火)まで期限を延長して回収
 ・調査対象者：富谷市内にお住まいの 18 歳以上の市民
 ・抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
 ・配布数：2,000 件
 ・配布・回収方法：郵送による配布・郵送もしくは Web による回収
 ・回答数（率）：1,226 件 (61.3%)

（今後も暮らしたいか）



（暮らしたいと思う理由）

No.	選択肢	件数	比率
1	住環境が良い	553	53.3%
2	買い物や外食、娯楽に便利	504	48.6%
3	自然環境が良い	326	31.4%
4	子育てがしやすい	166	16.0%
5	医療・福祉サービスが充実している	163	15.7%
6	地域での人間関係が良い	160	15.4%
7	学校や仕事、家族の都合	147	14.2%
8	交通の便が良い	115	11.1%
9	都市基盤が整っている	49	4.7%
10	子どもの教育環境が良い	49	4.7%
11	公共施設が充実している	41	3.9%
12	消防・防災・防犯体制が整っている	37	3.6%
13	その他	61	5.9%
	無回答	32	3.1%
	累計	2,403	231.5%
	回答者数 (N)	1,038	100.0%

これから必要だと思う施策では、「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」と回答した人の割合が最も高く 73.3%となっています。

No.	選択肢	件数	比率
1	仙台市泉中央までの交通利便性の確保	899	73.3%
2	安全・安心な暮らしの確保	515	42.0%
3	総合病院などの医療施設の誘致	474	38.7%
4	スーパーなど商業施設の充実	365	29.8%
5	子育て支援策の充実	293	23.9%
6	幼児教育や小中学校の教育等の充実	291	23.7%
7	企業誘致の推進	289	23.6%
8	市民バス・デマンド型交通の充実	275	22.4%
9	幹線道路の整備	260	21.2%
10	介護予防の推進	208	17.0%
11	健康維持・増進への取組の推進	197	16.1%
12	公園など憩いの場の整備	178	14.5%
13	共に支え合う地域づくりの推進	109	8.9%
14	文化会館の整備	107	8.7%
15	障がいのある方が働くことのできる通所施設等の整備	99	8.1%
16	地球温暖化対策の推進	88	7.2%
17	デジタルを活用した行政サービスの提供	83	6.8%
18	子どもの権利条約に基づいた子どもにやさしいまちの推進	74	6.0%
19	自然や人とふれあえる市民農園の整備	69	5.6%
20	国際姉妹都市・友好都市実現による国際交流、多文化共生の推進	44	3.6%
21	大亀山森林公園の利活用の推進	39	3.2%
22	市民協働の推進	22	1.8%
23	その他	49	4.0%
	無回答	58	4.7%
	累計	5,085	414.8%
	回答者数 (N)	1,226	100.0%

図 必要だと思う施策

(4) 公共交通を取り巻く社会の動向

○誰もが、より快適で容易に移動できる、生活に必要不可欠な交通の維持・確保

- ・地域が自らデザインする、持続可能で、多様かつ質の高いモビリティの実現
(MaaSの実装、超小型モビリティの普及など)
- ・まちづくりと連携した地域構造のコンパクト・プラス・ネットワーク化の推進
(地域公共交通計画と立地適正化計画の一体的な策定・実施、地域における交通のベストミックスの実現など)
- ・交通インフラ等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進
(バリアフリー整備目標等の着実な実現、ICTを活用したスマートフォン等での情報提供など)
- ・観光やビジネスの交流拡大に向けた環境整備
(旅行者・地方滞在者等向けの移動環境整備等など)

○我が国の経済成長を支える、高機能で生産性の高い交通ネットワーク・システムへの強化

- ・人・モノの流動の拡大に必要な交通インフラ・サービスの拡充・強化
(道路交通ビッグデータやAIを活用した渋滞対策など)
- ・交通分野のデジタル化の推進と産業力の強化
(MaaSの円滑な普及に向けた基盤づくり、自動運転システムの実現に向けた技術開発、制度整備など)
- ・サプライチェーン全体の徹底した最適化等による物流機能の確保
(物流分野のデジタル化等の推進など)

○災害や疫病、事故など異常時にこそ、安全・安心が徹底的に確保された、持続可能でグリーンな交通の実現

- ・災害リスクの高まりや、インフラ老朽化に対応した交通基盤の構築
(交通インフラの戦略的な維持管理・更新や老朽化対策など)
- ・輸送の安全確保と交通関連事業を支える担い手の維持・確保
(先進技術等を利用したより安全な自動車の開発・実用化・普及の促進など)
- ・運輸部門における脱炭素化等の加速
(自動車を排出源とする二酸化炭素の削減等など)

○公共交通の持続可能性の確保

- ・乗合バス等の地域公共交通は、人口減少等の影響により、輸送需要の縮小、運転手不足等の厳しい経営環境に置かれ、その影響として、路線数の減や運行本数の減、運賃の値上がりなどの事態に繋がっている
- ・地方における交通事業者は、利用者の減少により経営状況が圧迫され、赤字路線を廃止せざるを得ない等、維持が困難な状況にあり、今後必要な公共交通サービスを受けることのできない地域住民が増加する等、地域公共交通は危機的な状況にある

(5) 富谷市を取り巻く現状の整理

前述した富谷市の交通を取り巻く現状の整理結果を以下に示します。

1) 地域特性

- ・本市の人口は、平成 27 年までは増加傾向で推移し、直近の令和 2 年国勢調査では微増となっている
- ・ただし、明石台地区や成田地区周辺では新たな住宅、工業地域の開発も予定されており、「富谷市人口ビジョン」では、令和 42 年に人口約 6 万人の確保を目標としている
- ・一方、65 歳以上人口比率の増加も今後は顕著になる見込みで、市の北部や東部で高齢者の大幅な増加が見込まれる
- ・市内の人口分布は明石台地区、成田地区、大清水地区など南部～中部の開発団地に集中している。これらの団地では今後も人口増が予測されているが、北部や東部では人口減少が想定される
- ・通勤・通学流動は、仙台市が最も多く、次いで大和町、大崎市、大衡村、利府町となっており、いずれも流出超過
- ・運転免許証の保有状況は、74 歳までは約 8 割以上が保有、80 歳以上では約 5 割となっている

2) 交通特性

【道路の状況】

- ・富谷市内の道路整備状況は、市の南北を通る国道4号が軸となり、泉中央駅から明石台、成田方面へは都市計画道路七北田西成田線が整備されており、これらは片側2車線の道路となっている
- ・一方で、国道4号は仙台市と富谷市の市境付近で慢性的な混雑が発生しており、国道4号から泉中央駅までの区間の混雑も激しいことから、泉中央駅へ向かう路線バスの遅れの要因となっている

【民間路線バス、市民バス、デマンド型交通の状況】

- ・民間路線バスは、泉中央駅から市内の明石台地区、成田地区、大清水地区、富ヶ丘地区等の、国道4号沿線にある住宅団地を中心に結んでおり、明石台・成田・大清水方面、富ヶ丘方面は本数も充実している
- ・市民バスは、富谷市役所、イオン富谷店を中心に市内各方面に運行しており、イオン富谷店では民間路線バスとの乗り継ぎも行っている。一方、運行本数は民間路線バスと比較し少なく、西部循環や南部循環を除き、利用者数は少ない現状
- ・令和2年10月に市民バスの再編と併せて、市民バスの代替手段となる新たな交通網形成を目指し、北部区域と東部区域の公共交通空白地域を対象とした、「デマンド(予約乗合)型交通」を運行している

【公共交通による移動実態】

- ・バス停の徒歩圏（300m）における人口カバー率は95.1%

（民間路線バス）

- ・富谷市内を通過する民間路線バス利用者（日平均：4,671人/日）のうち、約9割が泉中央駅を乗車バス停または降車バス停として利用しており、明石台二丁目～泉中央駅間や「明石台西～泉中央駅」間の利用が多い
- ・乗車時間帯別人数は、朝は7時台に集中し、夕方は16時台から19時台に分散している

（市民バス）

- ・市民バスの令和5年度の利用者は日平均357人/日で、西部循環線、南部循環線の利用者が多くなっている

（デマンド型交通）

- ・デマンド型交通の1日当たりの利用者数は徐々に増加しており、令和5年度は7.1人/日となっている

3) 市民ニーズ

【市民バスアンケート（R6）の結果】

- ・市民バス利用者からの市民バスの改善点に関する意見としては、「増便」に関する意見が最も多く、次いで「バス停留所」、「市内路線拡大」となっている
- ・市民バスを利用しない人による「利用しない理由」をみると、「時間帯が合わない」が最も多く、次いで「行きたい場所を通らない」、「他の交通手段を活用」となっている
- ・回答者の約半数が市外への運行を希望しており、行先別では「泉中央駅」が最も多く約35%を占めている

【富谷市まちづくりアンケート（R6）調査】

- ・継続的な居住意思について 84.7%の方が「今後も暮らしたい」と回答しており、定住意向が高いことがわかる
- ・「今後も暮らしたい」と回答する方の理由のうち、「交通の便が良い」と回答した方は11.1%にとどまっており、一方で今後の富谷市における必要な施策は「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」が回答率 73.3%と突出して高くなっている

【ワークショップ「公共交通から考えるトミヤの未来会議」からの意見】

- ・泉中央駅や JR の駅、富谷市内の病院、ショッピングセンターを経由するなど、運行ルートやダイヤの検討が必要
- ・宮城交通との乗り継ぎの利便性向上
- ・バスのバリアフリー化、停留所などのバス待機環境の改善
- ・わかりやすい地図や時刻表の作成、バス時刻や運行情報の検索方法の周知、認知度の向上
- ・土・日・祝日の運行やイベントとの連携、試乗体験など、多くの方に「バスをまず利用してもらう」工夫の必要性
- ・小型ワゴンの導入やデマンド型バスの導入、各種学割などの導入等より良い交通手段への改善
- ・ライドシェアの導入
- ・ダイヤの最適化や遅延が少ないゆとりを持った時刻表の設定

【新公共交通システムの推進に関するこれまでの取組】

- ・市民からのニーズが高い「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」の実現に向けて仙台市泉中央との基幹公共交通の整備を目的とした各種調査を実施している

（令和 4 年度）地下鉄整備の事業化検討調査

（令和 5 年度）BRT（バス高速輸送システム）整備の調査

4) 社会動向

- ・地域交通の DX・GX※化、超小型モビリティの普及など持続可能で、利便性の高いモビリティの実現
- ・まちづくりと連携した地域構造のコンパクト・プラス・ネットワーク化の推進
- ・交通インフラ等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進
- ・環境に配慮した技術（FC・EVバス、自動運転等）の活用、脱炭素化加速
- ・乗り合いバス等地域公共交通は、人口減少等による輸送需要の縮小、運転手不足等により、経営環境が悪化し、路線数の減や運賃値上げ等の事態に繋がっている
- ・地域によっては、必要な公共交通サービスを受けられない住民が増加する等、危機的な状況にある

5) 周辺環境の変化等への対応

【新たな公共施設へのアクセス】

- ・令和7年度末に完成予定のユートミヤ（富谷市複合図書館；市民図書館、スイーツステーション、児童遊戯施設の複合施設）や、やすらぎパークとみや（市営墓地・パークゴルフ場）、リニューアルした大亀山森林公園等への観光客増加に伴うアクセス向上や、明石台地区が候補地となっている新病院へのアクセスについて検討する必要がある

【買い物困難等への配慮】

- ・市内の大型ショッピング施設の撤退等により、これまでに比べて買い物等が不便となった地域があることから、公共交通を利用した買い物等利便性の向上を図る必要がある

※「GX」（グリーントランスフォーメーション）とは、Green Transformation の略。カーボンニュートラルや温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取組を経済の成長の機会と捉え、排出削減と産業競争力の向上の実現に向けて、経済社会システム全体を変革することを言います。

2.2 富谷市の公共交通の課題

前述した「地域特性」、「交通特性」、「市民ニーズ」、「社会動向」、「周辺環境の変化等」による、富谷市の公共交通に関して解決すべき課題を「富谷市都市・地域総合交通戦略（基本計画）」で取り組んできた課題をベースに、以下のとおり整理しました。

《富谷市の公共交通及び公共交通を取り巻く現況》

地域特性

- ・ 今後も人口は増加する見込でR42年度には6万人を確保する見込み
- ・ その一方で、高齢者や免許返納者等の移動制約者が増加
- ・ 通勤・通学流動は、仙台市、大和町、大崎市、大衡村、利府町の順に多く、いずれも流出超過

交通特性

- ・ 仙台市との市境部における慢性的な道路の混雑
- ・ 富谷市内を通過する民間路線バス利用者のうち、約9割が泉中央駅を乗車バス停または降車バス停として利用
- ・ 民間路線バスの乗車時間帯別人数は、朝7時台に集中し、夕方は16時台から19時台に分散

市民ニーズ

- ・ 今後の富谷市における必要な施策は「仙台市泉中央駅までの交通利便性の確保」が回答率73.3%と突出して高い
- ・ 市民バスの改善点として「運行時間帯」と「増便」、「土日・祝日運行」
- ・ バス車両や待機環境の改善

社会動向

- ・ 地域交通のDX・GX化、超小型モビリティの普及など持続可能で、利便性の高いモビリティの実現
- ・ 環境に配慮した技術（FC・EVバス、自動運転等）の活用、脱炭素化加速
- ・ 人口減少等による輸送需要の縮小、運転手不足等による、バス事業者等の経営環境悪化により、地域公共交通は危機的な状況にある

周辺環境の変化等への対応

- ・ ユートミヤ(富谷市複合図書館)へのアクセスや買い物困難者等への対応

《富谷市の公共交通に関する課題》

課題1

富谷市と仙台市泉中央駅を結ぶ広域交通の改善・強化

課題2

市民の利用ニーズにあった持続可能な路線バス網の維持・改善

課題3

市民が利用しやすい市内移動環境の整備

課題4

使いやすい・分かりやすい交通手段の整備

課題5

新技術の活用と連携した公共交通利用の動機づけ

課題6

脱炭素社会に向けた公共交通の強化

整理した課題に対し、どのような取組が求められているのかを以下に示します。

課題 1	富谷市と仙台市泉中央駅を結ぶ広域交通の改善・強化
-------------	---------------------------------

○「住みたくなるまち日本一」に向け、市民の大きなニーズである泉中央駅までの公共交通の利便性向上について、道路混雑の影響回避なども考慮しながら推進することが求められています。

課題 2	市民の利用ニーズにあった持続可能な路線バス網の維持・改善
-------------	-------------------------------------

○市民の利用実態や意向を反映したバス網の維持・改善について、利用者減少に伴う地域公共交通の今後の動向に合わせた持続可能なサービスの在り方や方向性を見据えながら取り組む必要性が求められています。

課題 3	市民が利用しやすい市内移動環境の整備
-------------	---------------------------

○高齢者や障がい者等を含めた誰にでも利用しやすい交通環境として、市内の移動環境の向上が必要であり、市民バスやデマンド型交通の見直しや民間路線バスとの連携、新技術の積極的な活用が求められています。

課題 4	使いやすい・分かりやすい交通手段の整備
-------------	----------------------------

○利用者の利便性向上及び公共交通の利用者拡大に向け、使いやすい・分かりやすい交通手段の整備が必要であり、交通運賃の割引や乗継割引などの施策の充実、新技術を活用した新たな展開が求められています。

課題 5	新技術の活用と連携した公共交通利用の動機づけ
-------------	-------------------------------

○地域交通の DX・GX 化など新技術の活用と連携し、市民が公共交通を「使える」「使いたくなる」動機づけの取組が求められています。

課題 6	脱炭素社会に向けた公共交通の強化
-------------	-------------------------

○慢性的な渋滞の緩和や FC バス・EV バスの普及促進、自家用車の利用を控え公共交通機関等の利用を促進することで、運輸部門の二酸化炭素排出量の削減が求められています。